

事業番号	04 05 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	人権尊重推進事業費		部局	県民文化部	課・室	人権・男女共同参画課
			実施期間	S61～	E-mail	inken-danjo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり					




## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	<b>【現 状】</b> 県政モニター調査（H29）では、50.3%の方が長野県は人権を尊重する意識が定着した県だと思っていると回答している。
	<b>【目指す姿】</b> 住民に親しみやすく、参加しやすい要素を取り入れた人権啓発の広報・イベント活動等の実施により、県民一人ひとりの人権尊重意識の高揚を図り、「人権が尊重される長野県」を目指す。
	<b>【実施内容】</b> 人権フェスティバルやスポーツ組織連携による人権啓発活動、人権相談 等

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)		H30年度	R1年度		
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	前年度繰越			
1	人権が尊重されていると思う人の割合	—	59.8%	53.0%	60.0%	未達成		予算額	現計予算	153,767	116,202
2									合計(A)	153,767	116,202
3									うち一般財源	60,647	48,995
4								決算額(B)	148,252	112,197	
								職員数(人)	4	4	

成果指標設定理由	1. 人権に関する県民意識を示す指標であるため、成果指標に設定
----------	---------------------------------

達成状況の分析	パラスポーツとの触れ合いを通じた障がい者の理解促進や性的少数者が生きやすくなるための施策等を展開することで、身の回りにおける様々な人権問題について県民へ意識づけることに注力したが、「人権が尊重されている」と感じる県民の割合は未達成であった。県民に対して、身近な人権問題に気づくことにとどまらず、他者に配慮し行動するよう人権意識の醸成を進めていくことで、目標の達成につながると考えられる。
---------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 講演会、研修会の開催と啓発資料の作成、配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業人権セミナー、人権フェスティバル等の開催</li> <li>・長野美術専門学校との連携による人権啓発ポスターの作成</li> </ul> </li> <li>✓ 県内スポーツ組織と連携協力した幅広い年齢層への啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権大使による人権啓発メッセージCMの放映、ポスターの掲示</li> <li>・人権スペシャルマッチの開催等による人権意識向上の呼びかけ</li> </ul> </li> <li>✓ 部落差別解消に向けた知事メッセージの公表 (R1.12)</li> <li>✓ 「性の多様性を尊重するための職員ガイドライン」の策定 (R2.3)</li> <li>✓ 市町村人権相談対応職員の資質向上のための研修会開催 (R1.5、R1.9 計127人参加)</li> </ul>	 <p>人権大使と知事の懇談会実施</p>	 <p>学生の視点により作成されたポスター</p>
	 <p>性の多様性を尊重するための職員ガイドライン「WE ARE "ALLY"」</p>		

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	部落差別や障がい者差別の解消に係る法律等の施行など、様々な差別の解消に向けた法整備がなされてきたが、虐待やハラスメント、インターネットを介した人権侵害の誹謗中傷、差別事象の発生など、人権侵害は依然として存在している。県民全体の人権に対する理解を深めていく必要がある。	人権が尊重され、誰にでも居場所と出番がある県づくりを推進するため、身近で親しみやすい人権啓発活動を実施していく。県内プロスポーツチームとの連携、人権学習会への人権啓発センター職員の派遣、市町村や法務局等関係機関との連携を進め、県全体で人権課題への対応を強化する。

事業名	人権尊重推進事業費	部局	県民文化部	課・室	人権・男女共同参画課
-----	-----------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	人権啓発推進事業費	13,412 千円	14,176 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	研修・講演会開催事業	直接	県民の人権意識高揚を図るため講演会を開催 ・人権フェスティバルの開催（12月、長野市） 【テーマ：パラスポーツを通じた障がい者の人権について考える】 ・企業人権セミナーの開催（7月、長野市） 【テーマ：外国人労働者の受入れに関する外国人の人権について】
			地域に密着した人権啓発事業を市町村へ委託 【委託市町村：19市町村、2,616千円】
2	啓発活動推進事業	直接	幅広い年齢層に向けた啓発のため、県内スポーツ組織と連携 【人権大使による啓発CM・ポスター作成、8試合（長野市、松本市、伊那市、中野市、千曲市）で啓発活動実施、人権スポーツ教室4回実施】
			長野美術専門学校と連携した人権啓発ポスターの作成 【作成まで4回学習会実施、人権課題5テーマについて17枚作成】
			ハンセン病問題についての正しい知識の普及啓発のための療養所訪問交流実施 【東京都多磨全生園：1回】
3	長野県人権政策審議会	直接	県が展開する人権施策について、より効果的に推進するため、人権政策のあり方について検討【1回、10月】
4	人権尊重社会づくり県民支援事業	補助金	県民自ら取り組む人権啓発活動を支援するため、経費の一部を補助（補助対象：応募あった事業から選定）【11団体、996千円】

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	人権・共生のまちづくり事業費	104,483 千円	66,557 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	人権・共生のまちづくり事業	直接	地域住民の福祉の向上を図るために市町村が実施する人権・共生のまちづくり事業等に対し補助【13市町村15館】

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
3	人権啓発センター事業費		13,393 千円	14,407 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	人権啓発センター事業	直接	県民一人ひとりの人権課題の解決・人権意識の高揚を図った ・人権相談【年間154件】、人権学習会へ講師派遣等【80回】 ・企画展の実施【7月：部落差別問題について、12月：障がい者の作品展】 ・ショッピングモールでの人権パネル展実施【1回、佐久市】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
4	性暴力被害者支援センター事業費		16,964 千円	17,057 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	性暴力被害者支援センター運営事業	直接	性暴力被害者の心身の負担軽減、健康の回復、また被害の潜在化防止のため、被害直後からの被害者支援ワンストップセンターとして開設【24時間、365日窓口開設】	